



子育てを楽しく！
そんなあなたを
ぴっぴが楽しく
ナビゲートします。

- 2019年5月28日(火) 静岡新聞朝刊
平時の近所付き合い大切 中区一般向け防災講座開講
- 2019年6月27日(木) 静岡新聞朝刊
転入者家族が交流会 中区地域の情報を共有
- 2019年6月27日(木) 中日新聞朝刊
あそび場や習い事紹介・子育て中の転入者が交流
- 2019年6月28日(金) ケーブルウィンディ
転入ファミリーのための交流会'19
「ウィンディニュース さんちよく!」
- 2019年7月7日(日) 静岡新聞朝刊
新米パパに親子遊び提案
- 2019年7月28日(日) 静岡新聞朝刊
すくろくで学ぶ 津波の避難法 中区小中学生、考案者と
- 2019年8月23日(金) 中日新聞朝刊
科学的知見踏まえた企業の防災対策必要
- 2019年8月26日(月) 中日新聞朝刊
いっぱい遊んで心も体も成長
- 2019年9月8日(日) 中日新聞朝刊
障害児の親 就労支援を
- 2019年9月15日(日) 静岡新聞朝刊
避難所設営考える
- 2019年9月16日(月) ケーブルウィンディ
障害児の親 就労支援を考える
「ウィンディニュース さんちよく!」
- 2019年9月24日(月) 静岡新聞朝刊
乳幼児用液体ミルク 特徴や利点を紹介
- 2019年9月21日(土) 中日新聞朝刊
なるほど、液体ミルク
- 2019年10月8日(火) 中日新聞朝刊
液体ミルク 疑問にお答え
- 2019年10月8日(火) 中日新聞朝刊
市防災学習施設 入館者5,000人超え
- 2019年10月19日(土) 静岡新聞朝刊
再就職希望の母親支援
- 2019年10月19日(土) 中日新聞朝刊
災害時うまい温か食事
- 2019年10月19日(土) 中日新聞朝刊
ママさんの再就職相談会
- 2019年10月20日(日) 静岡新聞朝刊
ポリ袋調理法 体験
- 2019年10月22日(火) 10:00～ ウィンディ
防災バッククッキング体験講座 「ウィンディニュース さんちよく!」

- 2019年11月3日(日) 静岡新聞朝刊
被災者 寄り添う報道に「発信者」の役割重要
- 2019年11月4日(月) 中日新聞朝刊
元河北新報記者が災害後の報道 講演
- 2019年11月6日(水) 18:15頃～ SBSテレビ
防災バッククッキング体験講座
「ORANGE～防災最前線～」
- 2019年11月25日(月) 10:00～ ウィンディ
子どもの好奇心との向き合い方 「ウィンディニュース さんちよく!」
- 2019年11月30日(土) 中日新聞朝刊
子連れに便利 非常用バッグ 浜松のNPO法人 ルートとタッグ
- 2019年11月30日(土) 静岡新聞朝刊
子育て世代向けトートバッグ 災害時要支援者を表示
浜松のNPOとメーカー共同開発
- 2019年12月4日(水) 23:00頃 SBS
「減災から防災社会へ」
- 2019年12月5日(木) 静岡新聞朝刊
防災への想像力高めて 中区 岩田 静岡大総合センター長 が講演
- 2020年1月25日(土) 中日新聞朝刊
ハザードマップは事前把握を 岡山の水害例に防災講座
- 2020年1月26日(日) 静岡新聞朝刊
水害への備え 解説 NPO代表「行動計画作成を」
- 2020年1月31日(金) 静岡新聞朝刊
ポリ袋調理こつ習得 中区 災害時役立講座
- 2020年1月31日(金) 中日新聞朝刊
災害時温かい料理 浜松でバッククッキング講座
- 2020年2月9日(日) 静岡新聞朝刊
仕事と家事両立経験者から助言 中区で交流会
- 2020年2月9日(日) 中日新聞朝刊
子育て、仕事の両立「先輩」と意見交換 中区で共働き家庭交流会
- 2020年2月11日(火) 中日新聞朝刊
南海トラフ被害甚大想定 時期「2030年以降」「明日にも」
- 2020年2月12日(水) 静岡新聞朝刊
幼稚園入園前悩み共有 中区 保護者交流イベント
- 2020年3月1日(日) 中日新聞朝刊
持ち出し袋の中身確認 浜松で防災講座 使う場面考え準備を
- 2020年3月1日(日) 静岡新聞朝刊
非常用袋の中身は 効果的持ち出し講座
- 2020年3月2日(月) 静岡新聞朝刊
避難所運営を疑似体験 中区 ゲーム通じ備え確認
- 2020年3月11日(水) 中日新聞朝刊
新型コロナ影響 家庭に意見募る

2019年度 メディア 掲載



新しい防災の取り組み 「つながる支援パック」に ROOTOTEコラボタイプが登場!!

浜松発のブランド「ROOTOTE (ルートート)」とのコラボにより、「つながる支援パック」の「子どもがいます。」マーク入りバッグの新しいタイプができました!軽量で大容量。屋内外で使え、内側にゴミ袋を固定できるので、おしゃれなごみ箱としても活用できます。「子どもがいます。」マークがついているので、いざという時には、子ども関連の情報を得るためのコミュニケーションツールにもなります。

活用方法

- 普段は…
 - いざというときの持ち出し品を入れてローリングストック
 - 出産祝いに、バッグの中に赤ちゃんのための備えを入れてプレゼント
 - 大切な顧客の方へのノベルティ
- 災害発生時には…
 - 乳幼児用品を一人分ずつセットして支援物資として輸送

赤ちゃんのためのファースト・レスキュー 赤ちゃんが生まれたら、赤ちゃんのための備えを!



「ROOTOTEコラボタイプ つながる支援パック」は、軽くて水にぬれても大丈夫!出産祝いに、バッグの中に赤ちゃん用の防災用品を詰めてプレゼントはいかがですか?



自立するので便利!
濡れても大丈夫!



バッグの仕様

- 「ルー・ガービッジ」手持ちタイプ
- 素材:[本体]ポリプロピレン・[留め具]ドットボタン
- サイズ:高さ40×幅30×マチ20cm
- 持ち手:24cm ■容量:30L
- ポケット:外側1箇所
- マークについて:プリントサイズ13×13cm、ピンク、「子どもがいます。」マーク
- ※クラフト素材がシワになっているようなプリントが施されています。

価格 1,400円
(税別・送料別)

購入はこちらから▶



はま防～家(浜松市防災学習センター)で毎月防災講座

ぴっぴが遠鉄アシスト株と協働で指定管理を行っている浜松市防災学習センターでは、毎月1回以上のイベントや講座・講演会などを開催しています。ぴっぴが企画運営を担っています。2019年度は、避難所宿泊体験1回と、講座・講演会を15回、年間で500名以上の参加がありました。(新型コロナウイルス感染症対策のため、3月の「春フェスタ」は中止となりました。)



実施内容

日程	講座	日程	講座
5/26(日)	「その時」の安心を作るために「今」できること 講師:静岡文化芸術大学 准教授 河村 洋子	12/4(水)	減災から防災社会へ～南海トラフ地震や激甚化する風水害にどう備えるか～ 講師:静岡大学防災総合センター長 岩田 孝仁
6/28(金)	防潮堤と減災効果 講師:浜松市危機管理課	12/4(水)	防災学習センター1周年記念集会 ファシリテーター:災害時にも助け合うネットワークはままつ(はままつna net) 鈴木まり子
7/11(木)	本気で考えよう!来るべき災害に備えて、今から始められること 講師:震災がつなぐ全国ネットワーク 松山 文紀	1/24(金)	水害から身を守るには? 講師:災害対応NPO MFP 松山 文紀
7/27(土)	津波から生き残り!防災すくろく体験 講師:弁護士 永野 海	1/30(木)	災害時に役立つ!バッククッキング体験講座vol. 2 講師:認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ 原田 博子
8/22(金)	自然災害によるリスク対応、していますか?～災害時における企業の安全配慮義務とBCP～ 講師:弁護士 永野 海	2/9(日)	南海トラフ地震&津波 基礎の基礎 講師:常葉大学 小村 隆史
9/14(日)～15(日)	避難所宿泊体験2019 講師:災害対応NPO MFP 松山 文紀 他	2/9(日)	鬼怒川決壊による常総市水害から～水害時に保健師が直面したこと～ 講師:常総市保健師 染谷 早苗
10/18(金)	災害時に役立つ!バッククッキング体験講座 講師:認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ 鈴木 里枝子	2/29(土)	非常持ち出し袋の中身チェックしよう 講師:災害対応NPO MFP 松山 文紀
11/2(土)	災害後の報道の役割とは 講師:ローカルジャーナリスト 寺島 英弥	3/1(土)	避難所運営ゲーム(HUG)で避難所体験 講師:災害対応NPO MFP 松山 文紀

東京オリンピックの開催が延期になるなど、新型コロナウイルス感染症対策が今後どのようになるのか不明ですが、状況に応じて、はま防～家では毎月1回程度の防災講座やイベントなどを開催する予定です。

浜松市防災学習センター▶



(講師敬称略)

2020年度が楽しみになる ぴっぴの“はじめての〇〇”

ぴっぴの活動が始まって丸15年、4月から「はじめての」男性スタッフが入ります!

「あれ?ぴっぴには男性はいなかったっけ?」と思う方もいるかもしれませんが、そんなんです!「男らしい感じの人」(?)はいるかもしませんが、これまで女性ばかりの職場でした。しかも “新卒” です。どれだけフレッシュな旋風を巻き起こしてもらえるのか、スタッフ一同期待が膨らんでおります。皆さんも、2020年度のぴっぴがどう化学反応を起こしていくか、楽しみにしていてくださいな!



ぴっぴについて

認定NPO法人 はままつ子育てネットワーク ぴっぴ

電話: 053-457-3418 FAX: 053-457-2901 E-MAIL: pippi@hamamatsu-pippi.net

◆ホームページ 子育て情報サイト <https://www.hamamatsu-pippi.net/>
アドレス ぴっぴ法人サイト <https://npo.hamamatsu-pippi.net/>



私たちは、浜松市および周辺地域の
人々に対する子育てサポートを目的に、
子育て中の親の視点で考え、
子育てしやすいまちづくりを
目指して活動しています。



ぴっぴ

ぴっぴとつながろう!

ぴっぴ facebook 検索

ぴっぴ twitter 検索



情報収集・情報発信で子育てをより楽しく!



モニター100人 ハンズフリーで子育て情報
Amazon Alexaの活用

AIスピーカー活用 実証実験

新着の子育て情報をチェックできる「ぴっぴforフラッシュニュース」、登録しているひろばの開催情報をチェックできる「ぴっぴ〜浜松市子育て情報〜」の2つのスキルを構築し、AIスピーカー活用に関するモニタリングを行いました。ぴっぴの作ったスキル以外にも、天気予報やニュースのチェック、音楽を聴いたり、ホームネットワークにつながった家電をコントロールしたりと、活用方法は今後広がっていきます。子育てライフに活かしませんか?



子育て中だからこそ伝えたい!取材パパ・ママ特派員の人気ブログ

ぴっぴのブログ『子連れでおでかけ』 情報発信は、年間250本以上!!

取材ママ・パパ特派員として、子どもとでかけた場所や遊び・講座等を紹介しています。いつもは個別に記事を書いているが、研修を兼ねてスタッフみんなで“はままつフラワーパーク”“浜名湖体験学習施設ウオット”に行き、それぞれの視点で記事を書くような試みもしています。毎月第3水曜日、FMHaru!の番組「Smile On Radio」に出演し、浜松の良いところなどをPRしていますので、聞いてくださいね!



3年目になり、閲覧数が初年度の12倍!

専門家が詳しく答えてくれる! 『はますくQ&A』サイト

人には聞きにくい悩みや相談先がわからない不安に、医師・臨床心理士・幼稚園教諭・保育士・助産師・保健師などが丁寧にアドバイスしています。PRの甲斐あってかユーザーも順調に増えています。妊娠中から主に未就学児のいる家庭の方に、おススメです!!



▲はますくQ&A

ぴっぴのブログ「子育てのヒント」に新シリーズ

『小児科医に聞くアレルギーの話』 『子どもの心とからだを育てるあそび』

浜松医療センター副院長兼小児科部長 西田光宏先生による“アレルギー”に関するブログや、静岡の体育指導のプロ集団 きんいの羊達の磯谷仁先生(愛称:スッパマン先生)による“子どもの遊び”に関するブログが、新シリーズとして登場しました。アレルギーのある子どもが増えている中、親として心配をしている声も多く、また、子どもの心とからだ健全に発達するための親子のふれあいやあそびへの関心も高く、まさに待望のブログです。ぜひ、参考にしてください。



▲小児科医に聞くアレルギーの話



▲子どもの心とからだを育てるあそび

戸惑う子育て中の親たち、
見通しの立たない奇立ち

緊急アンケート 「新型コロナウイルスの影響は?」

新型コロナウイルス感染症対策として、学校が休校となり、子どもの居場所や日々の過ごし方に困った親たちや、仕事がキャンセルとなり収入が減る状況が、いつまで続くのか見通しが立たずに不安を抱えている親たちもいます。ぴっぴサイトで緊急アンケートを行い、子育て中の人たちの声を集めました。

ぴっぴのニュースクロスアップ
「新型コロナウイルスアンケート」▶



新型コロナウイルス感染症対策として

新型コロナウイルス感染症が発生していることをふまえ、浜松市子育て情報センターでは、以下の対策を行っております。
職員は、マスク着用・手洗いの励行、手指消毒による消毒を実施。施設管理として、手指消毒液ポンプを館内に設置、定期的な換気の実施、各室の机・椅子・ドアノブ(手の触れる箇所)は、入替時にアルコール消毒液で拭く、返却されたマイク・リモコン等は、消毒液で拭く、新型コロナウイルス感染症対策関連情報の掲示など適宜行っております。
3密(密閉・密集・密接)を避け、ウィルスを「持ち込まない・持ち出さない」を心がけ、みんなでこの局面を乗り越えましょう!



子育てと仕事の両立を応援!



子育てと仕事の両立と
放課後の子どもの居場所をよりよくするために

土曜日開設放課後児童会運営 & にしのこ放課後児童会他 3施設運営

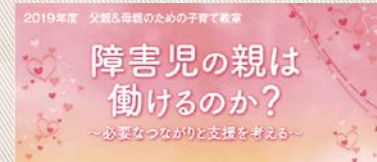
土曜日開設放課後児童会の運営は、2018年度から、にしのこ放課後児童会他3施設運営は2019年度からモデルケースとして浜松市の委託を受けて行ってきました。放課後児童会の課題として、「保育の質の向上」「支援員・補助員の研修」「浜松市内の地域により運営方法等が異なること」などがありました。これらの課題解決のために、今後浜松市の放課後児童会の民間委託へ移行するための基礎をつくるよう励んできました。会費の口座振替を導入等、支援員の事務負担軽減をし、学童保育カンファレンスルーム代表森崎照子氏を迎えた研修等を行いました。残念ながら、2020年度からの運営には携われませんが、今後注目していきたいものです。



障害のある子どもの母親のフルタイム就労率は5%以下!?

『障害児の親は働けるのか?』講座

子育て中の親の就労率が6割を超える一方、障がいのある子どもを育てている親(特に母親)のフルタイムでの就労率はわずか5%にも満たないという調査結果もあります。それだけ障がいのある子どもを育てながら働くというのは難しいのです。「障がいにより急病になりやすく、職場に迷惑をかける事を考えると働きたくても働けない。働けたとしても職場の理解を得にくい」など、障がいのある子どもを持つ親が多数集まり、情報交換や悩みの共有をしました。



▲当日の様子はこちら▶

ひとり親家庭支援事業を広報し、利用を促し、依頼実績を昨年比585%に!

ひとり親家庭等日常生活支援事業

2018年度から浜松市よりこの事業のマッチング管理の委託を受けました。浜松市で事業運営していた時には、この事業そのものがあまり知られていなかったことから、まずはひとり親家庭に知ってもらい、支援者を増やし、マッチングを円滑に進めるよう取り組んでいます。



▲ひとり親家庭等日常生活支援事業について▶



企業との協働で子育てに役立つ講座開催



2019年3月5日、消費者庁は
国内初となる乳児用液体ミルクを許可!

▲当日の様子はこちら▶

『教えて!液体ミルク』講座

9月20日(金)・10月7日(月)に、液体ミルクについての講座を開催しました。液体ミルクが日本で認可されたものの、「値段が高い・消費期限が短いなど、身近に使っている人を見かけないし、わからないことだらけ」という子育て中の親の声がありました。そこで、現在日本で販売している明治(ほほえみ)・江崎グリコ(アイクレオ)の2社の栄養士さんを講師に、液体ミルクについて講義していただきました。



地元企業とコラボ講座!
親子で食育を学ぶ

ぴっぴのおいしさ体験! 「浜名湖ファーム」の うずらの卵パーティー



うずらの卵を使った料理をどれくらい知っていますか?2月2日(日)、「浜松パワーフード」に認定されている「浜名湖ファームのうずらの卵」を使って親子でクッキングに挑戦しました。参加した親子からは「家で食べたことがなかったうずらの卵を、子どもがパクパク食べていた」という声がありました。まさにこれが、食育を学ぶ醍醐味です。浜名湖ファームでは、子どもたちの農業体験や食の体験の場を提供していきたいということです。次の企画が決まったら、ぴっぴサイトに掲載しますので、チェックしてください。

▲当日の様子はこちら▶



子育て中の親×地域の子育て支援者が出会い、子どもに3向き合う

地域の子育て支援をつないだ 育児サークル支援×父親&母親のための子育て教室 タイアップ企画

『子どもの好奇心』との向き合い方

子どもをのびのびと育てたいと思いつつ、子どもの安全を思えばこそ、家庭でも子育て支援の場でも「〇〇はダメ」と言い過ぎてしまうことがあります。子どもとどのように向き合えば、のびのびと育てられるのかを、リスクマネジメントディレクターの講師から学びました。子育て中の親と地域で子育てを支援している地区社会福祉協議会や民生児童委員などが交流をしながら意見交換をしました。違った立場の人との交流から、地域でどのような子育て支援が行われているのかも見えて、大変好評でした。



▲当日の様子はこちら



地元企業と協働!子育て中の親の学びの場

ママの“知りたい”を応援する 『はままつママゼミ』絶好調!!



▲はままつママゼミについてはこちら

ぴっぴとエネジ(株)・医療法人社団明徳会かば記念病院・(株)杏林堂薬局・浜松いわた信用金庫・(株)ミダックがタッグを組んで、子ども連れでも気軽に参加できる講座を開催しています。企業の社会貢献としても注目されています。



はままつママゼミLINE
を友だち登録すると、
最新情報が送られてきます。

